

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。また、外国為替予約取引等の運用にあたっては、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、F I Lインベストメント・インターナショナル（旧社名：F I Lペンションズ・マネジメント）に運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	ベビーマザーファンド メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 マザーファンド メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーマザーファンド 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。 マザーファンド 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 三菱UFJ メキシコ債券オープン ＜為替アクティブヘッジ＞（毎月決算型）



第33期（決算日：2016年6月6日）  
第34期（決算日：2016年7月4日）  
第35期（決算日：2016年8月4日）  
第36期（決算日：2016年9月5日）  
第37期（決算日：2016年10月4日）  
第38期（決算日：2016年11月4日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン＜為替アクティブヘッジ＞（毎月決算型）」は、去る11月4日に第38期の決算を行いましたので、法令に基づいて第33期～第38期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
URL:<http://www.am.mufug.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

（9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## 三菱UFJ メキシコ債券オープン＜為替アクティブヘッジ＞（毎月決算型）のご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	9
◇1万口当たりの費用明細	10
◇売買及び取引の状況	10
◇利害関係人との取引状況等	11
◇組入資産の明細	11
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	12
◇損益の状況	13
◇分配金のお知らせ	14
◇お知らせ	14

## マザーファンドのご報告

◇メキシコ債券マザーファンド	15
----------------	----

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
9期(2014年6月4日)	10,275		30		2.0	94.6	—	658	
10期(2014年7月4日)	10,363		30		1.1	92.7	—	646	
11期(2014年8月4日)	10,247		30		△0.8	94.1	—	560	
12期(2014年9月4日)	10,494		30		2.7	92.7	—	550	
13期(2014年10月6日)	10,456		30		△0.1	89.9	—	530	
14期(2014年11月4日)	10,590		45		1.7	93.1	—	520	
15期(2014年12月4日)	10,571		45		0.2	91.1	—	500	
16期(2015年1月5日)	10,440		45		△0.8	86.2	—	445	
17期(2015年2月4日)	10,675		45		2.7	90.9	—	442	
18期(2015年3月4日)	10,361		45		△2.5	90.7	—	426	
19期(2015年4月6日)	10,393		45		0.7	94.0	—	431	
20期(2015年5月7日)	9,973		45		△3.6	93.1	—	414	
21期(2015年6月4日)	10,089		45		1.6	91.1	—	405	
22期(2015年7月6日)	9,864		45		△1.8	93.7	—	351	
23期(2015年8月4日)	9,724		45		△1.0	95.1	—	342	
24期(2015年9月4日)	9,326		45		△3.6	93.9	—	304	
25期(2015年10月5日)	9,221		45		△0.6	88.9	—	287	
26期(2015年11月4日)	9,253		45		0.8	90.4	—	287	
27期(2015年12月4日)	9,107		45		△1.1	91.6	—	270	
28期(2016年1月4日)	8,634		45		△4.7	90.1	—	221	
29期(2016年2月4日)	8,200		45		△4.5	88.7	—	211	
30期(2016年3月4日)	8,040		45		△1.4	92.4	—	205	
31期(2016年4月4日)	8,182		45		2.3	89.5	—	179	
32期(2016年5月6日)	7,859		45		△3.4	90.0	—	163	
33期(2016年6月6日)	7,329		45		△6.2	92.7	—	152	
34期(2016年7月4日)	7,317		45		0.5	92.2	—	152	
35期(2016年8月4日)	7,092		45		△2.5	91.5	—	145	
36期(2016年9月5日)	7,341		45		4.1	92.0	—	151	
37期(2016年10月4日)	6,984		45		△4.3	94.3	—	137	
38期(2016年11月4日)	6,852		45		△1.2	89.8	—	132	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第33期	(期 首) 2016年5月6日	円 7,859		% —	% 90.0		% —
	5月末	7,734		△1.6	92.3		—
	(期 末) 2016年6月6日	7,374		△6.2	92.7		—
第34期	(期 首) 2016年6月6日	7,329		—	92.7		—
	6月末	7,344		0.2	90.6		—
	(期 末) 2016年7月4日	7,362		0.5	92.2		—
第35期	(期 首) 2016年7月4日	7,317		—	92.2		—
	7月末	7,306		△0.2	91.4		—
	(期 末) 2016年8月4日	7,137		△2.5	91.5		—
第36期	(期 首) 2016年8月4日	7,092		—	91.5		—
	8月末	7,271		2.5	90.8		—
	(期 末) 2016年9月5日	7,386		4.1	92.0		—
第37期	(期 首) 2016年9月5日	7,341		—	92.0		—
	9月末	6,971		△5.0	90.6		—
	(期 末) 2016年10月4日	7,029		△4.3	94.3		—
第38期	(期 首) 2016年10月4日	6,984		—	94.3		—
	10月末	6,999		0.2	91.0		—
	(期 末) 2016年11月4日	6,897		△1.2	89.8		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

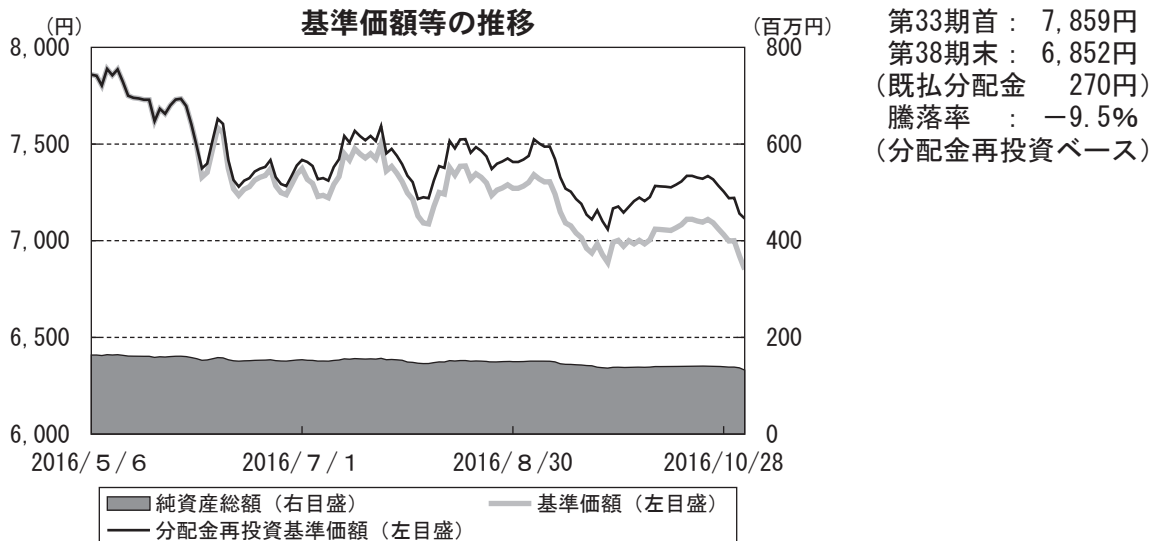
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第33期～第38期：2016/5/7～2016/11/4)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ9.5% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因

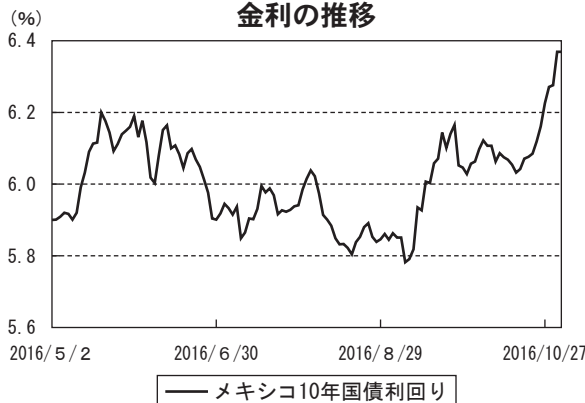
債券利子収入を享受したことや為替アクティブヘッジ戦略を実施したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

メキシコ金利が上昇 (債券価格は下落) したことやメキシコペソが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第33期～第38期：2016/5/7～2016/11/4)

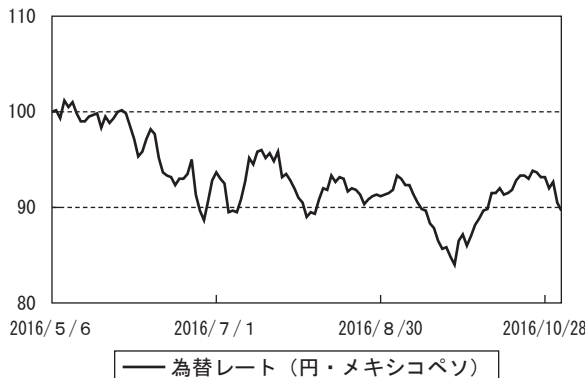


(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・ 当作成期首から2016年5月中旬にかけては、メキシコと経済的なつながりの強い米国で利上げ観測が高まったことなどが影響し、メキシコ金利は上昇しました。
- ・ 5月中旬から9月上旬にかけては、英国のEU(欧州連合)離脱問題の波及懸念などを背景に米国の利上げ観測が後退したことなどから、メキシコ金利は低下しました。
- ・ 9月上旬から当作成期末にかけては、米大統領選挙の見通しに対する不透明感が広がったこと、米国の利上げ観測が再び高まったことなどが影響し、メキシコ金利は上昇しました。
- ・ 当作成期を通じて見ると、メキシコ金利は上昇しました。

為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

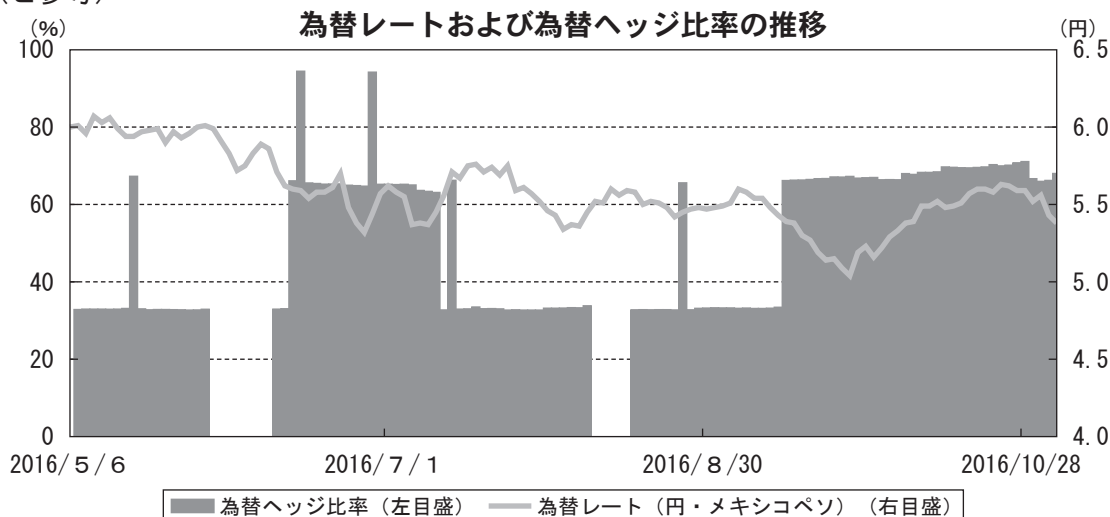
- ・ 主に当作成期首から9月下旬にかけて、英国のEU離脱問題の波及懸念からリスク回避の動きが強まったこと、日本政府が発表した経済対策に対する失望感が広がったこと、米大統領選挙の見通しに対する不透明感が広がったことなどが影響し、メキシコペソは対円で下落しました。
- ・ 当作成期を通じて見ると、メキシコペソは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型) >

- ・主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコ債券を高位に組み入れるとともに、実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整しました。
- ・主に2016年7月下旬から9月下旬にかけて円高・メキシコペソ安が進行した局面では当ファンドで実施している為替アクティブヘッジ戦略が基準価額下落の抑制要因となった一方、9月下旬から10月下旬にかけて円安・メキシコペソ高が進行した局面では当戦略が基準価額上昇の抑制要因となりました。その結果、当作成期を通じて見ると、当戦略の基準価額に対する影響は為替ヘッジを実施しなかった場合と比べて小幅ながらプラスに寄与しました。
- ・債券利子収入を享受したことや為替アクティブヘッジ戦略を実施したことなどがプラスに寄与したものの、メキシコ金利が上昇したことやメキシコペソが対円で下落したことなどがマイナスに影響し、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

(ご参考)



(注) 為替ヘッジ比率は、ファンドが保有するメキシコペソ建て資産（キャッシュ含む）に対する割合を簡便的に計算したものです。

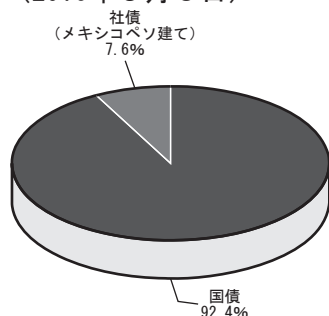
## 〈メキシコ債券マザーファンド〉

- ・ 基準価額は当作成期首に比べ9.4%の下落となりました。
- ◎組入比率
- ・ 現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。
- ◎債券種別構成
- ・ メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えメキシコペソ建て社債を引き続き一部組み入れました。
- ◎金利戦略
- ・ メキシコ国債については、バリュエーション面で相対的に魅力的だと考える中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ ポートフォリオ全体で見ると、債券利子収入を享受したものの、メキシコ金利が上昇したことやメキシコペソが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

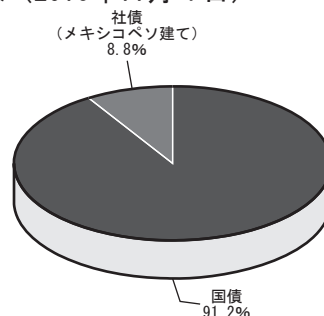
（ご参考）

### 種類別組入比率

作成期首（2016年5月6日）



作成期末（2016年11月4日）



（注）比率は現物債券評価額に対する割合です。



# 三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型)

(ご参考)

## 利回り・デュレーション (平均回収期間や金利感応度)

作成期首 (現地2016年5月5日)

作成期末 (現地2016年11月3日)

最終利回り	5.7%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	5.8%
直接利回り	6.3%
デュレーション	5.9年



最終利回り	6.5%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	6.5%
直接利回り	6.5%
デュレーション	5.9年

- ・データはF I Lインベストメンツ・インターナショナル (旧社名: F I Lペンションズ・マネジメント) より提供された運用ポートフォリオベースのものであります。
  - ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
  - ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
  - ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
  - ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。最終利回り (為替取引考慮後) は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアム/コストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

(ご参考)

## 債券の格付分布

作成期首 (2016年5月6日)

作成期末 (2016年11月4日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	86.0%	9
BBB格	7.1%	1
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	94.4%	10
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
- ・AAA格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
- ・A格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
- ・BBB格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
- ・BB格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用している場合があります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。

### 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

#### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期
	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月4日	2016年7月5日～ 2016年8月4日	2016年8月5日～ 2016年9月5日	2016年9月6日～ 2016年10月4日	2016年10月5日～ 2016年11月4日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
（対基準価額比率）	0.610%	0.611%	0.631%	0.609%	0.640%	0.652%
当期の収益	28	28	26	36	24	25
当期の収益以外	16	16	18	8	20	19
翌期繰越分配対象額	605	588	570	561	541	521

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

<三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型) >

◎今後の運用方針

- ・主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、利子収益の確保および債券売買益の獲得をめざす方針です。実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整します。

<メキシコ債券マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・メキシコ政府が財政支出削減に向けた政策運営を進めていること、メキシコ中央銀行がインフレや自国通貨の安定化に配慮した政策運営を進めていることなどがメキシコ債券および為替市場にとってポジティブな材料であると見ています。一方で、影響度の大きい米国の経済および政策動向には注意が必要と考えます。

◎今後の運用方針

- ・引き続きメキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとバリュエーション面などを考慮し、中長期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年5月7日～2016年11月4日)

項 目	第33期～第38期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(35)	(0.486)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(28)	(0.380)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.057	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	(0.046)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 1 )	(0.009)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	69	0.945	
作成期中の平均基準価額は、7,270円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2016年5月7日～2016年11月4日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第33期～第38期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 6,162	千円 5,300	千口 26,338	千円 23,300

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年5月7日～2016年11月4日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2016年11月4日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第32期末		第38期末	
		口	数	口	数
			千口	千口	千円
メキシコ債券マザーファンド		166,293		146,117	125,777

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2016年11月4日現在)

項	目	第38期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
メキシコ債券マザーファンド		125,777	91.8
コール・ローン等、その他		11,310	8.2
投資信託財産総額		137,087	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (765,735千円) の投資信託財産総額 (773,434千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=103.02円	1 メキシコペソ=5.38円		
------------------	----------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第33期末	第34期末	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末
	2016年6月6日現在	2016年7月4日現在	2016年8月4日現在	2016年9月5日現在	2016年10月4日現在	2016年11月4日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	253,616,748	333,383,944	193,475,289	296,466,293	229,466,352	235,838,075
コール・ローン等	5,347,395	9,733,052	3,430,651	6,625,914	4,550,701	3,271,152
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	149,397,965	148,882,455	140,588,284	147,084,967	137,448,454	125,777,934
未収入金	98,871,388	174,768,431	49,456,354	142,755,412	87,467,187	106,788,989
未収利息	—	6	—	—	10	—
(B) 負債	100,973,672	180,715,632	47,626,309	145,246,928	91,476,645	103,512,721
未払金	99,794,182	179,568,542	46,470,372	144,087,420	90,386,676	99,078,926
未払収益分配金	937,239	938,888	925,406	926,942	889,095	869,008
未払解約金	—	—	—	—	—	3,355,308
未払信託報酬	241,629	207,680	229,947	231,973	200,369	208,946
未払利息	8	—	4	9	—	4
その他未払費用	614	522	580	584	505	529
(C) 純資産総額(A-B)	152,643,076	152,668,312	145,848,980	151,219,365	137,989,707	132,325,354
元本	208,275,553	208,641,877	205,645,896	205,987,145	197,576,747	193,113,038
次期繰越損益金	△ 55,632,477	△ 55,973,565	△ 59,796,916	△ 54,767,780	△ 59,587,040	△ 60,787,684
(D) 受益権総口数	208,275,553口	208,641,877口	205,645,896口	205,987,145口	197,576,747口	193,113,038口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,329円	7,317円	7,092円	7,341円	6,984円	6,852円

## ○損益の状況

項 目	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期
	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月4日	2016年7月5日～ 2016年8月4日	2016年8月5日～ 2016年9月5日	2016年9月6日～ 2016年10月4日	2016年10月5日～ 2016年11月4日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 269	△ 210	△ 290	△ 115	△ 158	△ 247
受取利息	5	6	2	—	10	—
支払利息	△ 274	△ 216	△ 292	△ 115	△ 168	△ 247
(B) 有価証券売買損益	△ 9,866,510	902,841	△ 3,461,058	6,285,625	△ 5,954,814	△ 1,470,091
売買益	1,884,013	13,314,509	11,263,978	12,103,106	9,847,503	7,787,154
売買損	△11,750,523	△12,411,668	△14,725,036	△ 5,817,481	△15,802,317	△ 9,257,245
(C) 信託報酬等	△ 242,240	△ 208,202	△ 241,327	△ 232,557	△ 200,874	△ 209,475
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△10,109,019	694,429	△ 3,702,675	6,052,953	△ 6,155,846	△ 1,679,813
(E) 前期繰越損益金	△45,217,400	△56,220,390	△55,548,256	△60,156,254	△52,624,470	△58,193,334
(F) 追加信託差損益金	631,181	491,284	379,421	262,463	82,371	△ 45,529
(配当等相当額)	( 3,397,044)	( 3,427,544)	( 3,396,560)	( 3,420,032)	( 3,305,195)	( 3,248,128)
(売買損益相当額)	(△ 2,765,863)	(△ 2,936,260)	(△ 3,017,139)	(△ 3,157,569)	(△ 3,222,824)	(△ 3,293,657)
(G) 計 (D+E+F)	△54,695,238	△55,034,677	△58,871,510	△53,840,838	△58,697,945	△59,918,676
(H) 収益分配金	△ 937,239	△ 938,888	△ 925,406	△ 926,942	△ 889,095	△ 869,008
次期繰越損益金 (G+H)	△55,632,477	△55,973,565	△59,796,916	△54,767,780	△59,587,040	△60,787,684
追加信託差損益金	631,181	491,284	379,421	262,463	82,371	△ 45,529
(配当等相当額)	( 3,398,298)	( 3,429,231)	( 3,397,791)	( 3,421,336)	( 3,307,008)	( 3,249,487)
(売買損益相当額)	(△ 2,767,117)	(△ 2,937,947)	(△ 3,018,370)	(△ 3,158,873)	(△ 3,224,637)	(△ 3,295,016)
分配準備積立金	9,205,293	8,851,488	8,330,855	8,151,551	7,382,983	6,819,848
繰越損益金	△65,468,951	△65,316,337	△68,507,192	△63,181,794	△67,052,394	△67,562,003

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 207,982,607円  
 作成期中追加設定元本額 2,765,329円  
 作成期中一部解約元本額 17,634,898円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6852円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は60,787,684円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月4日	2016年7月5日～ 2016年8月4日	2016年8月5日～ 2016年9月5日	2016年9月6日～ 2016年10月4日	2016年10月5日～ 2016年11月4日
費用控除後の配当等収益額	595,987円	592,163円	548,459円	750,418円	476,891円	488,511円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	3,398,298円	3,429,231円	3,397,791円	3,421,336円	3,307,008円	3,249,487円
分配準備積立金額	9,546,545円	9,198,213円	8,707,802円	8,328,075円	7,795,187円	7,200,345円
当ファンドの分配対象収益額	13,540,830円	13,219,607円	12,654,052円	12,499,829円	11,579,086円	10,938,343円
1万口当たり収益分配対象額	650円	633円	615円	606円	586円	566円
1万口当たり分配金額	45円	45円	45円	45円	45円	45円
収益分配金総額	937,239円	938,888円	925,406円	926,942円	889,095円	869,008円

- ④ 「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額、および当ファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、当ファンドの信託財産の純資産総額に対し年10,000分の19.5以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○分配金のお知らせ

	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期
1 万口当たり分配金 (税込み)	45円	45円	45円	45円	45円	45円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## 【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。



## メキシコ債券マザーファンド

### 《第7期》決算日2016年11月4日

〔計算期間：2016年5月7日～2016年11月4日〕

「メキシコ債券マザーファンド」は、11月4日に第7期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限ります。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I Lインベストメンツ・インターナショナル（旧社名：F I Lペンションズ・マネジメント）に運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
3期(2014年11月4日)	12,103	11.2%	93.9%	—%	1,838
4期(2015年5月7日)	11,501	△5.0	94.4	—	2,162
5期(2015年11月4日)	11,307	△1.7	91.7	—	1,581
6期(2016年5月6日)	9,502	△16.0	93.1	—	972
7期(2016年11月4日)	8,608	△9.4	94.4	—	769

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)	2016年5月6日	円 9,502		% —		% 93.1	% —
	5月末		9,418	△	0.9	94.9	—	—
	6月末		8,908	△	6.3	93.8	—	—
	7月末		8,897	△	6.4	94.8	—	—
	8月末		8,915	△	6.2	94.6	—	—
	9月末		8,370	△	11.9	93.9	—	—
	10月末		8,890	△	6.4	94.1	—	—
	(期 末)	2016年11月4日	8,608	△	9.4	94.4	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

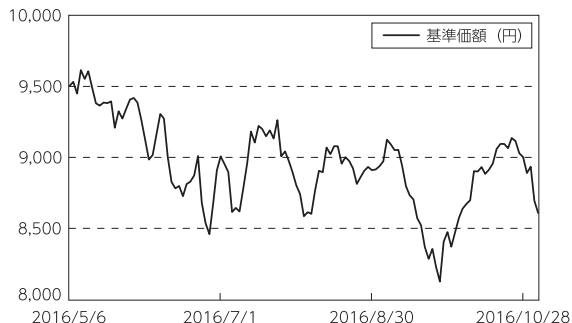
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.4%の下落となりました。

基準価額の推移



## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・期首から2016年5月中旬にかけては、メキシコと経済的なつながりの強い米国で利上げ観測が高まったことなどが影響し、メキシコ金利は上昇（債券価格は下落）しました。
- ・5月中旬から9月上旬にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱問題の波及懸念などを背景に米国の利上げ観測が後退したことなどから、メキシコ金利は低下しました。
- ・9月上旬から期末にかけては、米大統領選挙の見通しに対する不透明感が広がったこと、米国の利上げ観測が再び高まったことなどが影響し、メキシコ金利は上昇しました。
- ・期を通じて見ると、メキシコ金利は上昇しました。

## ◎為替市況

- ・期首から2016年9月下旬にかけて、英国のEU離脱問題の波及懸念からリスク回避の動きが強まったこと、日本政府が発表した経済対策に対する失望感が広がったこと、米大統領選挙の見通しに対する不透明感が広がったことなどが影響し、メキシコペソは対円で下落しました。
- ・期を通じて見ると、メキシコペソは対円で下落しました。

**●当該投資信託のポートフォリオについて****◎組入比率**

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

**◎債券種別構成**

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えメキシコペソ建て社債を引き続き一部組み入れました。

**◎金利戦略**

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で相対的に魅力的だと考える中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、債券利子収入を享受したものの、メキシコ金利が上昇したことやメキシコペソが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

**◎今後の運用方針****◎運用環境の見通し**

- ・メキシコ政府が財政支出削減に向けた政策運営を進めていること、メキシコ中央銀行がインフレや自国通貨の安定化に配慮した政策運営を進めていることなどがメキシコ債券および為替市場にとってポジティブな材料であると見ています。一方で、影響度の大きい米国の経済および政策動向には注意が必要と考えます。

**◎今後の運用方針**

- ・引き続きメキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとバリュエーション面などを考慮し、中長期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年5月7日～2016年11月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.049	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(4)	(0.048)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	4	0.049	
期中の平均基準価額は、8,899円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2016年5月7日～2016年11月4日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ -	千メキシコペソ 12,663

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年5月7日～2016年11月4日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2016年11月4日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	123,700	135,076	726,711	94.4	—	67.2	11.4	15.9
合 計	123,700	135,076	726,711	94.4	—	67.2	11.4	15.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券	10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	3,400	4,583	24,661	2036/11/20	
	4.5 MEXIC UDI I/L 251204	4.5	700	4,300	23,136	2025/12/4	
	4.75 MEXICAN BONO 180614	4.75	16,800	16,621	89,425	2018/6/14	
	6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	12,800	13,034	70,126	2021/6/10	
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	13,800	14,063	75,659	2022/6/9	
	7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	6,000	6,167	33,179	2017/12/14	
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	27,900	30,616	164,716	2031/5/29	
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	3,000	3,200	17,217	2020/6/11	
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	26,300	30,645	164,872	2029/5/31	
普通社債券	7.19 PETR MEX(GL) 240912	7.19	13,000	11,843	63,716	2024/9/12	
合 計					726,711		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2016年11月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 726,711	% 94.0
コール・ローン等、その他	46,723	6.0
投資信託財産総額	773,434	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(765,735千円)の投資信託財産総額(773,434千円)に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=103.02円	1 メキシコペソ=5.38円	
------------------	----------------	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年11月4日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	773,434,247
コール・ローン等	29,206,927
公社債(評価額)	726,711,291
未収利息	17,516,029
(B) 負債	4,000,010
未払解約金	4,000,000
未払利息	10
(C) 純資産総額(A-B)	769,434,237
元本	893,847,936
次期繰越損益金	△124,413,699
(D) 受益権総口数	893,847,936口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,608円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,023,084,014円  
 期中追加設定元本額 38,010,455円  
 期中一部解約元本額 167,246,533円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8608円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	747,730,447円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	146,117,489円
合計	893,847,936円

## ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は124,413,699円です。

## ○損益の状況 (2016年5月7日～2016年11月4日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	25,879,130
受取利息	25,881,077
支払利息	△ 1,947
(B) 有価証券売買損益	△111,390,837
売買益	4,299,306
売買損	△115,690,143
(C) 保管費用等	△ 409,890
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 85,921,597
(E) 前期繰越損益金	△ 50,948,180
(F) 追加信託差損益金	△ 4,420,455
(G) 解約差損益金	16,876,533
(H) 計(D+E+F+G)	△124,413,699
次期繰越損益金(H)	△124,413,699

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## [お知らせ]

運用の指図に関する権限の委託先を従来の「FILペンションズ・マネジメント」から「FILインベストメンツ・インターナショナル」へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2016年8月6日)